

1 令和2年度の路線別利用状況

(1) 国内旅客

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月上旬から減便が続いた。首都圏等への移動自粛の解除に伴い、6月からは徐々に復便しているものの、旅客数は前年度比18.6%と大幅に減少した。

(単位：人，%)

路線	区分	令和2年度 (令和2年4月～令和2年9月)	平成31年度 (平成31年4月～令和元9月)	対前年度比	備考
東京	搭乗者数	199,964	1,081,565	18.5	H29.10.29～1便増便 H30.10.28～1便減便 H31.2.1～1便増便
	搭乗率	44.9	74.5		
成田	搭乗者数	11,412	128,683	8.9	H30.1.16～1便減便 H30.8.1～1便復便
	搭乗率	36.0	81.2		
札幌	搭乗者数	16,123	94,923	17.0	
	搭乗率	26.2	78.9		
仙台	搭乗者数	17,787	41,269	43.1	
	搭乗率	37.5	82.3		
沖縄	搭乗者数	18,842	73,822	25.5	
	搭乗率	32.3	75.5		
その他国内	搭乗者数	505	2,565	19.7	
	搭乗率	33.8	67.8		
国内線合計	搭乗者数	264,633	1,422,827	18.6	
	搭乗率	41.0	75.6		

(2) 国際旅客

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月下旬以降全路線運休となり、回復の見通しが立っていない。

(単位：人，%)

路線	区分	令和2年度 (令和2年4月～令和2年9月)	平成31年度 (平成31年4月～令和元9月)	対前年度比	備考	
ソウル	搭乗者数	0	25,666	0.0	H30.8.27～2便減便 R元.12.17～運休	
	搭乗率	0.0	85.0			
中国路線	大連・北京	搭乗者数	0	21,769	0.0	平成28年冬スケジュールから冬期は週4便、夏期は週5便で運航されている。
		搭乗率	0.0	53.3		
	上海・成都	搭乗者数	0	34,663	0.0	H30.3.25～成都への延伸を休止
		搭乗率	0.0	77.8		
(小計)	搭乗者数	0	56,432	0.0		
	搭乗率	0.0	66.1			
台北	搭乗者数	0	43,933	0.0		
	搭乗率	0.0	76.2			
香港	搭乗者数	0	23,512	0.0		
	搭乗率	0.0	85.4			
シンガポール	搭乗者数	0	17,080	0.0	H29.10.30 就航 週3便 R2. 3.27～運休	
	搭乗率	0.0	66.7			
バンコク	搭乗者数	0	-	-	R2.12.18 就航 週3便	
	搭乗率	0	-			
合計	搭乗者数	0.0	166,623	0.0		
	搭乗率	0.0	73.6			
その他海外	搭乗者数	0	6,557	0.0		
	搭乗率	0.0	78.5			
国際線合計	搭乗者数	0	173,180	0.0		
	搭乗率	0.0	73.8			

(3) 旅客合計

国内線、国際線の旅客全体としては、前年度比16.6%と大幅に減少した。

(単位：人，%)

路線	区分	令和2年度 (令和2年4月～令和2年9月)	平成31年度 (平成31年4月～令和元9月)	対前年度比	備考
旅客合計	搭乗者数	264,633	1,596,007	16.6	
	増加人数	▲ 1,331,374			

## 2 定期航空路線の状況

### (1) 国内線

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月上旬から減便が続いていたものの、首都圏等への移動自粛の解除に伴い、6月からは徐々に復便している。

地域	路線	開設(就航)年月日	航空会社	略号	運航頻度	
					運航計画 (R2夏ダイヤ)	R2.10の運航状況
関東	東京 (羽田)	昭和37年10月14日	全日本空輸	ANA	1日9往復	1日5往復 (10/23.29は6往復, 10/26は7往復)
		昭和63年7月23日 (平成2年7月21日)	日本航空	JAL	1日8往復	1日4往復 (10/31は5往復)
	<小計>		2社		1日17往復	1日9往復 (10/23.29.31は10往復, 10/26は11往復)
	成田	平成15年8月1日	IBEXエアラインズ (全日本空輸)	IBX ANA	1日1往復	運休
		平成26年8月1日	春秋航空日本	SJO	1日2往復	1往復/日(金・土・日のみ)
	<小計>		2社		1日3往復	1往復/日(金・土・日のみ)
北海道	札幌	平成27年10月25日	全日本空輸	ANA	1日1往復	運休
		平成8年8月2日	日本航空	JAL	1日1往復	1日1往復
	<小計>		2社		1日2往復	1日1往復
東北	仙台	平成21年9月21日	IBEXエアラインズ (全日本空輸)	IBX ANA	1日2往復	1日2往復
沖縄	那覇	昭和61年4月26日	全日本空輸	ANA	1日1往復	1日1往復
<計>	5路線		4社		1日25往復	1日13~15往復

### (2) 国際線

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3月下旬以降全路線運休となり、回復の見通しが立っていない。

国・地域	路線	開設(就航)年月日	航空会社	略号	運航頻度	
					運航計画 (R2夏ダイヤ)	R2.10の運航状況
韓国	ソウル	平成28年10月20日	エアソウル (アジアナ航空)	RS OZ	運休	運休
中国	大連・北京	平成10年2月26日	中国国际航空 (全日本空輸)	CA NH	週5往復	
	上海	平成8年2月6日	中国東方航空 (日本航空)	MU JL	週7往復	
	<小計>		2社		週12往復	
台湾	台北	平成16年6月2日	チャイナエアライン (日本航空)	CI JL	週7往復	
香港	香港	平成27年10月27日	香港エクスプレス	UO	週4往復	
シンガポール	シンガポール	平成29年10月30日	シルクエア (シンガポール航空)	MI	運休	
タイ	バンコク	令和元年12月18日	ノックエア	DD	週3往復	
<計>	7路線		7社		週26往復	全路線運休

## 3 県の対応

○国際線については、航空会社に対し、次の経費の一部を令和3年3月まで支援することとしている。

- ・路線維持のために必要となる経費(事務所賃貸料等の固定経費)
- ・速やかな路線回復を図るために必要となる経費(一般共用施設使用料等、運航便数に応じて必要となる変動経費)

○あわせて、国際線の路線維持に不可欠な機内食製造会社に対し、固定経費の一部を令和3年3月まで支援することとしている。

○国内線については、利用促進のため、航空会社に対し、広告費を支援するほか、今後の動向を見極めながら、タイムリーかつ効果的な利用促進の取組を実施する。